

研究通信

No.1

令和8年度の研究について

都立墨田特別支援学校

令和8年6月30日

全校研究テーマ

「学習指導要領を踏まえた授業改善～小・中・高等部の学びの連続性を考える～」
～年間指導計画(墨田スタンダード)の作成～

学習指導要領の改訂を踏まえ、本校ではこれまで段階的に授業改善に取り組んできました。令和3・4年度の2年間は「主体的・対話的で深い学び」について、令和5年度からの2年間は「育成すべき3つの資質・能力」に焦点を当て、研究を進めてきました。これらの取組を通して、教員が教科や学部を越えて指導内容について共通理解を図ることができ、小学部・中学部・高等部を通した一貫した教育と、学びの連続性を保障していくことの重要性を確認できました。

こうした研究の成果を踏まえ、今年度は、各学部を通した系統性や指導の一貫性を一層高めるため、「学習内容整理表」を活用し、それを基にした本校の指導の基準となる年間指導計画（墨田スタンダード）の作成に取り組みます。

「学習内容整理表」は、昨年度に作成したもので、学習指導要領に示された各教科等の学習内容（小学部・中学部・高等部の各段階）を一覧化し、文部科学省著作教科書（星本）や高等部教科書の内容と対応させながら、指導内容を整理したものです。

各教科では、この学習内容整理表を活用し、児童・生徒の生活年齢や実態を踏まえながら、具体的な指導の在り方を検討するとともに、各学年で身に付けるべき学習内容を整理していきます。

そして、これらの整理を基に、本校の児童・生徒に育成を目指す資質・能力や指導内容を整理した、本校の指導の基準となる年間指導計画「墨田スタンダード」を作成していきます。

今後は、この墨田スタンダードをもとに各学年の年間指導計画を作成し、児童・生徒の実態に応じた調整を行いながら、小学部から高等部まで一貫した指導を推進してまいります。

全校研修会

※時間、テーマは変更する可能性があります。

実施日時 令和8年7月30日（木） 14:30～16:30

外部講師 東京学芸大学 教育学部 特別支援科学講座講師 内海 友加利 先生

テーマ 「学習指導要領を踏まえた授業改善～小・中・高等部の学びの連続性を考える～」
～年間指導計画(墨田スタンダード)の作成～

研究発表会

実施日時 令和8年1月13日(水) 15:00~17:00

外部講師 東京学芸大学 教育学部 特別支援科学講座講師 内海 友加利 先生

内 容 各教科グループが研究成果を発表
総評と講演会

夏季研修会

外部専門家、本校教職員による教職員対象の夏季研修会を実施予定。

授業参観

研究授業を参観することで、授業改善に役立てます。教員同士授業を参観し、改善点を助言し合うなど、持続可能な授業力の向上システムを構築していきます。

教材・教具開発

児童・生徒の障害特性に応じた教材・教具を教員が作成します。作成したものを、全教員で共有し、授業改善につなげていきます。

次回の研究通信は、夏季研修会の様子をお伝えします。